

令和3年第1回多摩川衛生組合議会臨時会
管理者挨拶・行政報告（令和3年5月25日）

本日は、各市とも定例議会を間近に控えまして、大変お忙しいところ、令和3年第1回多摩川衛生組合議会臨時会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

令和3年2月16日に開催されました定例会以降の組合の概況につきまして、ご報告を申し上げます。

まず、組合組織につきましては、平成25年度以降、各構成市から職員を派遣いただくとともに、令和3年度の組合人事におきましては、施設長寿命化事業の実施年度にあたり、これに対応する組織体制を構築するなど、新たな体制のもと、円滑なごみの中間処理が行えるよう、職員一丸となって諸課題に取り組んでいるところであります。

次に、監査に関する事項でございますが、例月出納検査につきましては、令和3年2月24日に令和2年度12月・1月分の検査を、令和3年4月27日に令和2年度2月・3月分の検査を実施していただきました。

以上の例月出納検査につきましては、財務等に関する事務は適正になされている旨の監査報告をいただいております。

続きまして、令和2年度のごみ処理等の実績につきましてご報告いたします。

可燃ごみ搬入量につきましては9万3,035トンで、そのうち組合構成4市が9万2,754トン、令和2年度から受け入れをしておりました宮城県大崎市の災害廃棄物の処理量につきましては、281トンとなっております。

平成31年度と比較しまして、全体で2,313トンの減で、組合構成4市の搬入量は1,434トンの増となっております。これは、平成31年度までは小金井市の可燃ごみの受託処理を行っており、令和2年度はこの受託処理が終了していることによるものでございます。

不燃・粗大ごみの搬入量につきましては3,255トンで、平成31年度と比較しますと、320トンの増となっております。

次に、し尿処理の状況ですが、令和2年度の投入量につきましては、多摩市及び三鷹市からの受託分を含めまして2,002キロリットルで、平成31年度と比較しますと、238キロリットルの減となっております。このうち、三鷹市のし尿搬入量は164キロリットルとなっております。

なお、組合議会でもご了解いただいておりますが、三鷹市のし尿につきまして、令和3年4月から1年間の予定で受け入れを開始しておりますので、ご報告いたします。

次に、発電設備の状況といたしまして、令和2年度の総発電量につきましては2,155万7,290キロワットアワーで、そのうち、売電電力は879万5,574キロワットアワーとなり、売電収入につきましては5,815万1,315円となりました。

最後に、施設の見学につきましてご報告を申し上げます。令和2年度の見学者につきましては、政府からの緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、受け入れ人数を縮小し実施をさせていただきましたが、現在は、構成市の小学校の社会科見学につきましては、小学校の社会科見学での清掃工場訪問という貴重な機会を失わないよう感染リスクを最大限回避する対策を講じて、一般の施設見学とは別に受け入れができるよう実施いたしております。

本臨時会には管理者提出議案といたしまして、多摩川衛生組合監査委員の選任についての議案を提出させていただきます。

ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

以上、ご挨拶と併せまして行政報告といたします。